

第10回 ICTを活用したフレイル予防研究会 開催報告書

「ICTを活用したフレイル予防研究会」は、ICTの効果的な活用を通じたフレイル予防・デジタルデバйд解消の推進を目的として設立されました。本研究会は、高齢者支援の取組にICTを効果的に活用するための好事例やノウハウ共有および自治体職員様同士の情報交換・交流機会の提供を行っています。

研究会の第10回目の開催報告を以下に記します。

1. 開催概要

主催: ICTを活用したフレイル予防研究会事務局(エーテンラボ株式会社内)

日時: 令和8年6月30日(火) 10:00~11:00 / 14:00~15:00

令和8年7月01日(水) 10:00~11:00 / 14:00~15:00

会場: オンライン(Zoom開催)

内容:

A	テーマ: 糖尿病の発症予防・重症化予防 ・ 日本栄養大学 津下 一代 教授 特別講演「糖尿病重症化予防～早期介入の重要性とICTでの新たなアプローチ～」 ※津下先生の講演は、2025年9月および2026年1月に実施した内容の再配信となります。 ・ 健康アプリ自治体事例紹介
B	テーマ: 高齢者の介護予防・フレイル予防 ・ 千葉大学 予防医学センター 近藤克則 特任教授 特別講演「第10期に向けた介護予防のエビデンス -アプリの可能性-」 ・ 健康アプリ自治体事例紹介

参加費: 無料

参加者: 高齢福祉や健康の取組に関わる全国411の自治体担当者

※研究会の累計参加自治体・所管課数は、1421(令和8年7月7日時点)

※録画配信の参加者含む

2. 各部の概要

2.1. Aテーマ: 糖尿病の発症予防・重症化予防

発表タイトル:『糖尿病重症化予防～早期介入の重要性とICTでの新たなアプローチ～』

発表者: 日本栄養大学 津下一代先生

参考:

- 津下一代研究室ホームページ
<https://ktsushita.com/>
- 日本栄養大学 ホームページ
<https://gyoseki.eiyo.ac.jp/eiyhp/KgApp?kyoinId=ymkbgbgdggy>

※本講演の発表資料の一般公開は行っておりません。セミナー参加後、アンケートにご回答いただいた方へのみ資料を送付しております。あらかじめご了承ください。

2.2. Bテーマ: 高齢者の介護予防・フレイル予防

詳細は「発表資料(千葉大学 予防医学センター 近藤克則先生)」をご参照ください。

https://minchalle.meclib.jp/library/books/seminar-2606_2/book/data/all_page.pdf

発表タイトル:『第10期に向けた介護予防のエビデンス -アプリの可能性-』

発表者: 千葉大学 予防医学センター 近藤克則先生

参考:

- 近藤克則研究室ホームページ
<https://katsunorikondo.wixsite.com/labo>
- 日本老年学的評価研究(JAGES)
https://www.jages.net/about_jages/greeting/

2.3. 第二部 発表

詳細は「発表資料(エーテンラボ株式会社)」をご参照ください。

<https://prevfrailty.a10lab.com/396758a5271080d08a51c7d7e4b56c12>

テーマ: 自治体様向けICTを活用したフレイル予防事業のご紹介

発表者: ICTを活用したフレイル予防研究会事務局(エーテンラボ株式会社内)

おわりに

当研究会では、今後も継続してICT事業に取り組む自治体様にとって有益な情報や機会を提供していきます。

＜お問合せ先＞

ICTを活用したフレイル予防研究会 / 担当: 渋谷(事務局長)

TEL: 03-5422-8396(代表) ※お電話口で担当: 渋谷・首藤(しゅとう)をお呼び出してください。

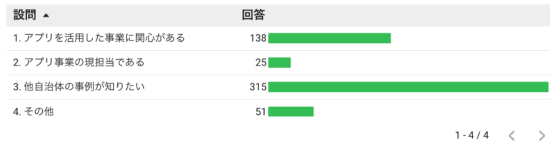
FAX: 050-3737-9242 / Email: minchalle.prev.frailty@a10lab.com

HP : <https://prevfrailty.super.site/>

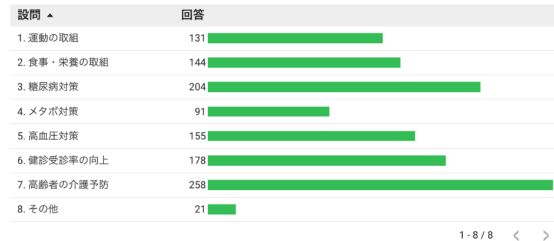
(参考資料1:高齢者支援事業におけるICT活用状況の調査報告)

第10回研究会開催に際し、全国自治体を対象に自治体の高齢者支援事業におけるICT活用状況を調査した。自治体からのアンケート回答により以下が明らかになった。

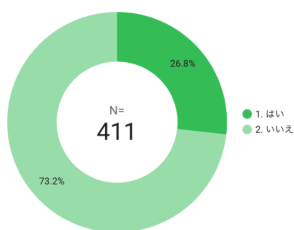
Q1. 本会へ申し込んだ理由を教えてください。(複数回答可)



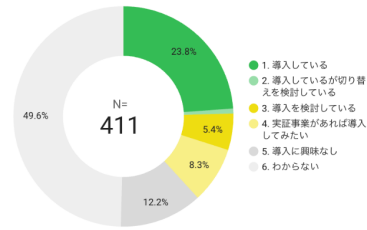
Q2. 貴自治体で特に注力している取組分野を教えてください。(複数回答可)



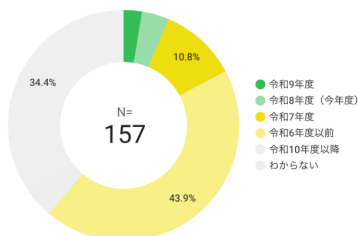
Q4. アプリを活用した生活習慣病の発症予防・重症化予防事業に、都道府県および市町村国保ヘルスアップ交付金が10/10補助で活用できることをご存知でしたか？



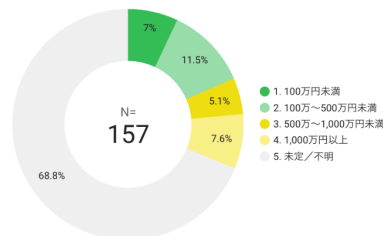
Q6. 健康増進や高齢者支援施策(※)にて、現在スマートフォンアプリを導入していますか？



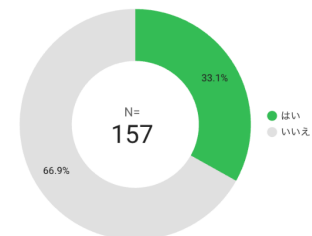
Q7. 健康増進や高齢者支援施策にて、アプリの導入を検討している、もしくはすでに導入している場合、事業開始年度をお答えください。(検討中の場合は予定で構いません。)



Q9. 現在実施している、もしくは来年度以降に実施を検討しているアプリ事業の事業費規模について、お答えください。



Q10. 現在実施している、もしくは来年度以降に実施を検討しているアプリ事業に、国または都道府県等の補助金を活用していますか (する予定ですか)？



Q11. 活用している補助金名

国保ヘルスアップ	4
地域支援事業交付金	3
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	2
地域未来交付金	2
子供・長寿・居場所区市町村包括補助事業	2
埼玉県繰入金	1
地域支援事業	1
新しい地方経済生活環境創生交付金	1
ヘルスアップ補助金	1
市町村国保ヘルスアップ	1
保健医療政策区市町村包括補助事業、高齢者施策区市町村包括補助事業	1
地域支援事業交付金又は重層的支援体制整備事業交付金	1
長寿、健康増進事業補助金	1
特別交付金 (県繰入金)	1
介護予防	1
国 (地域支援事業交付金、調整交付金)、県 (市域支援事業交付金)	1
デジタル田園都市国家構想交付金	1
神奈川県後期高齢者医療広域連合後期高齢者保健事業補助金	1
オンライン介護予防サポート事業補助金	1

(参考資料2:第10回研究会 開催事前アンケート)

[アンケート]

自治体における健康アプリ等の活用状況調査

【ご回答にあたって】

- ・全ての質問において、自治体全体の方針ではなく、ご所属部署の取組内容に関してお答えください。
- ・原則WEBフォームでご回答をお願いいたします。(WEBフォームは、前ページ目記載のURLからご回答ください。)

お申込みとアンケートについて

お申込者様の個人情報の利用目的および第三者提供については、当研究会を運営する当社の「プライバシーポリシー」に記載しております。(https://a10lab.com/privacypolicy/)同意の上、お申し込みください。

1. 本会へ申し込んだ理由を教えてください。(複数回答可)

- ☐ 1. アプリを活用した事業に関心がある
- ☐ 2. アプリ事業の現担当である
- ☐ 3. 他自治体の事例が知りたい
- ☐ 4. その他

2. 貴自治体で特に注力している取組分野を教えてください。(複数回答可)

- ☐ 1. 運動の取組
- ☐ 2. 食事・栄養の取組
- ☐ 3. 糖尿病対策
- ☐ 4. メタボ対策
- ☐ 5. 高血圧対策
- ☐ 6. 健診受診率の向上
- ☐ 7. 高齢者の介護予防
- ☐ 8. その他

3. 講演者である近藤先生(介護予防、健康まちづくりの専門家)にお話しいただきたい内容やご質問がございましたら、ご自由にご記載ください。

※本設問は近藤先生の回にご参加予定の方向けの任意項目です。該当しない場合はご回答不要です。

※ご要望やご質問は、近藤先生に事前に共有の上、可能な範囲でご講演内容の中に盛り込んでいただきます。先生に直接ご質問できる貴重な機会ですので、お悩みや小さな疑問等、ぜひお気軽にご記入ください。

4. アプリを活用した生活習慣病の発症予防・重症化予防事業に、都道府県および市町村国保ヘルスアップ交付金が10/10補助で活用できることをご存知でしたか？

- ☐ 1. はい ☐ 2. いいえ

5. 健康アプリを活用した実証事業(※無料)へのご興味について

※健康づくり、重症化予防、フレイル予防など事業の目的は問いません。

- ☐ 1. 詳しく話を聞いてみたい
☐ 2. 実証事業には興味はないが、事例について話を聞いてみたい
☐ 3. 現時点では興味ない/わからない

<設問6以降は、所属部署ではなく貴自治体についてご回答ください>

6. 健康増進や高齢者支援施策(※)にて、現在スマートフォンアプリを導入していますか？

※健康づくり、重症化予防、フレイル予防、生きがいづくり、デジタルデバйд解消など事業の目的は問いません。

- ☐ 1. 導入している
☐ 2. 導入しているが切り替えを検討している
☐ 3. 導入を検討している
☐ 4. 実証事業があれば導入してみたい
☐ 5. 導入に興味なし
☐ 6. わからない

～～以降は、上記設問で選択肢1～4を選択された方に伺います。それ以外の方はこちらで終了になります。～～

7. 健康増進や高齢者支援施策にて、アプリの導入を検討している、もしくはすでに導入している場合、事業開始年度をお答えください。(検討中の場合は予定で構いません。)

- ☐ 1. 令和6年度以前
☐ 2. 令和7年度
☐ 3. 令和8年度(今年度)
☐ 4. 令和9年度
☐ 5. 令和10年度以降
☐ 6. わからない

8. 現在実施している、もしくは今後実施を検討しているアプリ事業のアプリ名や取組内容を具体的にお答えください。

--

9. 現在実施している、もしくは来年度以降に実施を検討しているアプリ事業の事業費規模について、お答えください。

- ☐ 1. 100万円未満
☐ 2. 100万～500万円未満
☐ 3. 500万～1,000万円未満
☐ 4. 1,000万円以上
☐ 5. 未定／不明

10. 現在実施している、もしくは来年度以降に実施を検討しているアプリ事業に、国または都道府県等の補助金を活用していますか(する予定ですか)? 活用している場合は具体的な補助金名をお答えください。

- ☐ 1. はい（補助金名： ） ☐ 2. いいえ